

新型コロナウイルスの影響が大

外食・中食が営業自粛で業務米の需要に直撃

令和元年産米の大量持ち越しによる秋が大荒れ

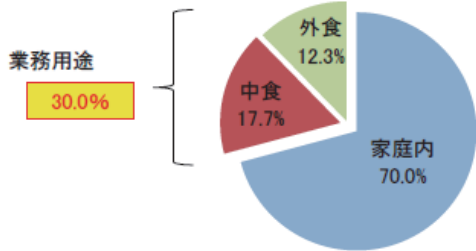
生産者通信

(有)エコ・ライス新編
定価 100円(送料込)

平成30年度の主食用米の消費内訳(農林水産省)をみると、外食12.3%、中食17.7%、業務用が30.0%を占めています。新型コロナウイルスの拡大による緊急事態宣言により、外出の自粛、飲食店等の営業自粛で、行き場を失った業務用米が倉庫に山積みになっていきます。

○価格暴落の恐れ
業務用米の大量の持ち越し在庫は米価下落を誘発します。その前兆ともいえるのが、浸種が進んでいる段階での令和2年産の酒米のキャンセルが多発しているとの情報です。酒蔵にとっては居酒屋などの酒類を提供する店の営業自粛で、日本酒の出荷も悪化します。

■ 主食用米の消費内訳 (平成30年度平均)



資料：米の消費動向調査(公社) 米穀安定供給確保支援機構調べ

○家庭需要増は一時的
スーパー等で米が品切れになる事態がありましたが、3〜4月で10%程度伸びたに過ぎず、需要の先食いとの見方が強くあります。

○堅実な生産調整
生産調整参加による補助金では、米粉用米が一番堅実かもしれませんが、高価格帯の重視から安定でリスクの少ない契約栽培、且つ、補助金が見込める選択への切り替えは、混迷を続ける世界経済の中でベストかもしれません。ご検討ください。

食物アレルギー物質等28品目不使用の新工場竣工

オリンピック・パラリンピック備蓄に50万食決定!



ライスクッキーは(株)尾西食品・(株)美松・当社の農商工連携

3月に竣工した28品目不使用の新工場



世界から東京に集まるオリ・パラの万一の災害の際の命を守る災害備蓄に、食物アレルギー、ハラール対応の「尾西のライスクッキー」50万食が採用されました。2月にも東京都に40万食を納入しているのが、都だけで、米粉用米が285俵(玄米換算)を使用。増え続ける食物アレルギー児、イスラム教徒が安心して食べられる災害非常食となっています。

○世界に米を広める
3社が中心となり「JAPANESE RICE PROJECT」を



東京都で採用のクッキー



パリのイベントで大盛況

立ち上げて、お米のバリアフリーを広める活動をしています。ニューヨーク、パリ、ドバイで活動しています。